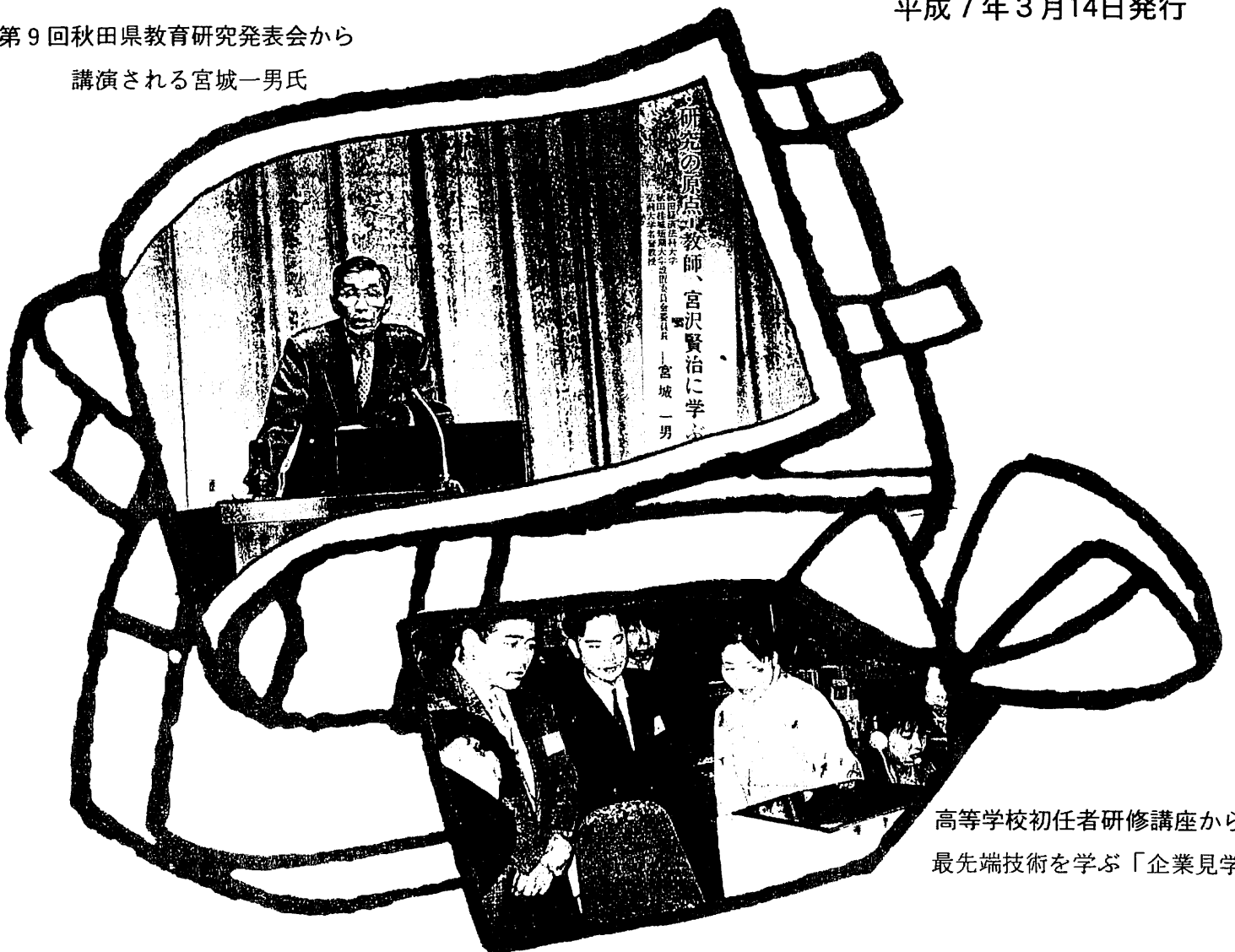


第9回秋田県教育研究発表会から
講演される宮城一男氏



高等学校初任者研修講座から
最先端技術を学ぶ「企業見学」

教育センターだより

◇ も く じ ◇

- ・第9回秋田県教育研究発表会から..... 1
- ・高等学校初任者研修講座から..... 1
- ・魅力ある研修講座をめざして..... 2
- ・平成7年度公開講演一覧..... 4
- ・平成6年度研修員研究テーマ一覧..... 5
- ・研修を終えて..... 5
- ・平成6年度刊行物案内..... 6
- ・さようなら仁井田の教育センター..... 6

秋田県教育センター

(秋田県総合教育センター)

〒010-01 南秋田郡天王町天王字追分西29-76

☎ 0188-73-7200(代表)
0188-73-7206(すこやか電話相談)
0188-73-7201(FAX)

パソコン通信 0188-73-7207(代表)
パソコン通信 0188-73-7210(FAX)
パソコン通信 0188-72-1020(INS64)

新総合教育センター開所初年度

人生を学ぶ公開講演

講座名：教職と人生シリーズ

期 日：5 ページの公開講演一覧参照

教育センターで行う研修講座の中から、その講座の受講者以外の方々にも、優れた英知に直接触れる場を提供することを目的に公開講演を開設します。

特に、平成7年度は、「教職と人生シリーズ」として、その道について造詣の深い有識者の方々を各分野からお呼びして講演をいただくことになりました。内容は、ボランティア活動、芸術分野、一般企業の方の生き方・考え方、教職の大先輩のお話など様々です。

教師として、これからの社会の変化に対応し、ますます幅広い教養や知見を求められる今日、これらの講演が一つの機会となれば幸いです。

教師も豊かな自然体験

講座名：感性を養う生活科春の体験

期 日：6月19日(月)～6月20日(火)

講座名：地球のよさを味わう生活科秋の体験

期 日：10月17日(火)～10月18日(水)

子供たちに、自然のすばらしさや生きている感動をたっぷり味わわせたいものです。そのためには、教師自身が豊かな自然体験をすることが大切です。



ネイチャーゲーム

「わたしの木」体験 田沢湖にて

この講座では、自然の中に入り込み、自然の不思議さ、美しさ、大きさ、神秘性…を体験します。心を開いて、全身で自然を感じ取る研修です。生活科に限らず、他教科にも生かされます。

魅力ある講座を

星空の世界へのいざない

講座名：スターウォッチング(初級編)

期 日：7月27日(木)～7月28日(金)

講座名：スターウォッチング(中級編)

期 日：8月8日(火)～8月9日(水)

果てしない宇宙のすばらしさに、たっぷり浸ってみませんか。時間も忘れて。

直径8mプラネタリウムドームでは、惑星や星座の動きを中心とした壮大な宇宙ショーを体験できます。また、



壮大な宇宙のドラマをコンピュータ制御による天体望遠鏡は、天体を自動的に追尾していきます。星空の美しさやロマンに触れるひとときを過ごしてみませんか。

楽しくアンサンブル

講座名：楽器アンサンブル

期 日：8月7日(月)

一人一人の奏でる楽器の音が、美しく響き合い流れる楽しさを体験してみませんか。この講座では、気軽に様々な楽器に触れ、実技を通して音楽の喜びを味わいます。防音設備の整った音楽室と2つのアンサンブル室とを活用し、音色を聴き合いながらハーモニーをつくることができます。



ハーモニーをつくる喜びを

平成7年度の研修講座の中からその一部を紹介します。

このほかにも工夫・改善を図り、より充実した講座を開講します。

詳しくは、4月に配布します講座案内をご覧ください。

めざして

AV付きのLLで幅広いリスニング

講座名：LLリスニング

期 日：10月4日(水)

今、国際化や情報化の社会に対応できる英語教師が求められています。そこで、AV付きLLの多様な活用の仕方を学び、教師のコミュニケーション能力の向上を図る研修を行います。最新のLL教室でジャンル別のリスニングやALTとのTT、更にビデオキャプションなどの視聴覚教材による多彩な言語活動を行います。本格派LLシステムの楽しいリスニングです。



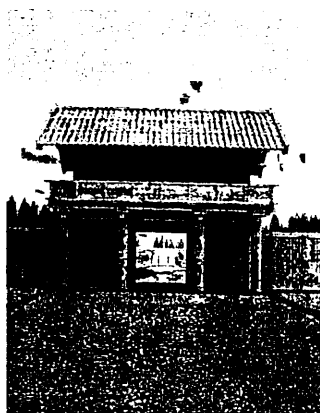
一人一台のテレビモニター付きブースを使います

弘田柵を探る

講座名：遺跡探訪

期 日：10月6日(金)

地域を素材にした歴史学習は (1)歴史を身近に引き寄せる(2)地域の歴史を窓口とした体験的な学習活動(3)地域の歴史を窓口にした日本の歴史とつなぐ(4)児童生徒自ら働きかけることができる、など児童生徒の創造力と感動が生れてくる授業に構成しやすと言えます。



復元された弘田柵外郭南門

今年度は弘田柵を題材にしながら、「地域に根ざした歴史学習」の教材化の工夫について研修します。社会科以外の先生方の参加も歓迎します。

初めてのパソコン

講座名：触れてみるパソコン研修講座

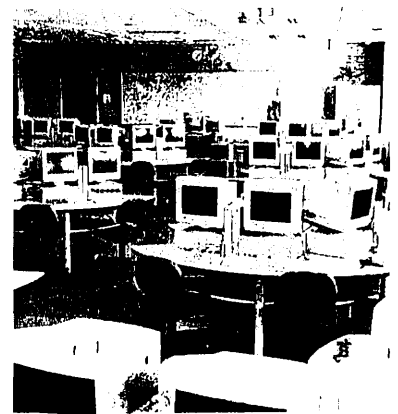
期 日：①班 6月5日(月)～6月7日(水)

②班 7月31日(月)～8月2日(水)

③班 9月12日(火)～9月14日(木)

パソコンを校務処理や学習指導の中で有効に活用できるような知識や技能を身に付けたいものです。

この講座では、表計算・図形・パソコン通信のソフトの機能や基礎的



最新鋭のコンピュータを導入

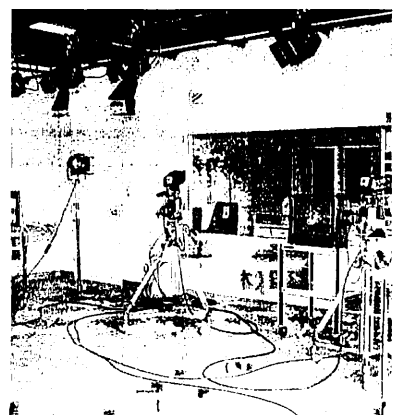
な操作の仕方について実習を行います。また、センターで受講できない先生方のために、同様の目的で県内2か所で移動教室を行います。県北地区は鷹巣町立鷹巣中学校、県南地区は十文字町立十文字中学校を会場に8月8日～9日に行います。

これからの情報教育

講座名：情報教育研修講座

期 日：6月22日(木)～6月23日(金)

ますます高度化する情報化社会にあって、生徒が主体的に対応できる情報活用能力の育成が求められています。情報化社会の特質などについて研修を深めるとともに、マルチメ



どんなビデオ教材ができるかな

ディアや、インターネットの利用など実践的な情報教育の進め方について研修します。

道具としてのパソコン

講座名：授業に生かすパソコン研修講座
 期 日：小学校 11月14日(火)～11月15日(水)
 中学校 11月16日(木)～11月17日(金)
 高等学校12月4日(月)～12月5日(火)

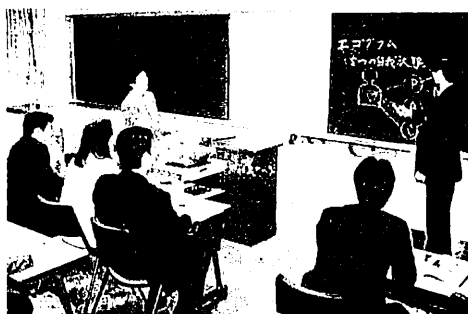
授業の中で、パソコンを表現活動や思考をまとめる道具として子供たちに自由に活用させたいものです。

この講座では、パソコンを活用した学習指導の実践例や、パソコンを用いた子供たちの表現活動・資料活動のための指導の在り方など、授業に生かすパソコンについて研修します。

笑顔で心のサポートを

講座名：児童生徒理解の方法研修講座
 期 日：6月13日(火)

子供たちを、笑顔で温かくサポートする。これが、教師です。この講座には、そのためのヒントが盛り込まれています。交流分析の心理検査であるエゴグラムやYG性格検査の演習を通して、複雑な心の中を描写してみませんか。



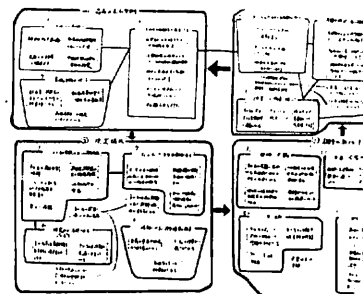
心の略図－エゴグラム演習

性格や行動に対する気付きが深まり、今まで以上に子供の心が見えてきます。

授業を変えよう

講座名：精神薄弱教育A研修講座
 期 日：6月19日(月)～6月20日(火)
 10月12日(木)

精神薄弱教育では「領域・教科を合わせた指導」が教育課程の中心となっており、意欲や態度などの向上目標が主として設定されています。



意欲・態度の基礎 KJ法による授業分析表からとなる知識や技能を分析し、より具体的な目標を設定した授業ができないかを見直すため、授業のVTRを見ながら授業研修を試みます。

実技を通してリフレッシュ

講座名：幼児教育実技研修講座
 期 日：自然8月29日(火) 音楽10月17日(火)
 造形10月31日(火) 言語11月14日(火)

それぞれの講座において、ネイチャーゲームで自然体験をしたり、参加した人たち皆の声や音色の響きを感じたり、幼児の描く絵を味わい、自分でも造形遊びを楽しんだり。そして絵本の読み聞かせをじっくり練習してみたりします。



私これからカメラさんになるの－5歳児

平成7年度 公開講演一覽

月 日	演 題	所 属 等	講 師	
6月6日(火)	今求められる学力観と評価	文教大学 教授	石田恒好	
6月22日(木)	学校教育におけるマルチメディア学習環境の可能性と課題	上越教育大学 助教授	南部昌敏	
6月26日(月)	教職と人生シリーズ	男鹿市立五里合小学校長	新出和子	
7月4日(火)		ボランティア活動に生きがいを求めて	ニコニコ苑 理事長	稲庭千弥子
9月19日(火)		百姓彫りの嘉左エ門の生き方	彫刻家 十文字町議員	皆川嘉左エ門
11月6日(月)		人生劇場の配役	元秋田市立山王中学校長	船越準蔵
11月15日(水)		男のロマンを求めて	西根木材有限会社 社長	西根正

申込：各学校に配布される「平成7年度研修講座案内」の要領にしたがって申し込んでください。

平成6年度研修員研究テーマ一覧

千葉 綾悦：力量形成からみた小学校初任者研修の成果と課題
 加藤 順：教員の力量形成における中学校初任者研修の役割
 高橋 直美：高等学校における初任者研修の在り方
 工藤 雅和：効果的な校内研修の在り方について
 木口 秀一：一人一人を生かすチームティーチング
 菊池 利雄：ふるさと教育における「ふるさと観」について
 鈴木 恒久：小学校における「ふるさと教育」の実践の在り方
 三浦 清美：中学校における「ふるさと教育」の実践の在り方
 川越よし子：国語科学習における自己評価能力育成の在り方
 倉田 寛行：豊かな語彙力を育てる現代文の指導法の工夫
 石川智香子：「数理的な処理のよさ」が分かる指導の工夫
 土田 充：人の体の単元における主体的な学習の展開
 佐々木康二：菌類・細菌類の働きの認識を深めさせる観察・実験の工夫（中学校理科）
 唐津谷浩生：音楽科における「即興的な表現活動」の内容と指導方法の工夫
 大野 泉：「家庭生活」領域における消費者としての自覚を高める指導の工夫
 高橋 誠子：英語の読解力を高めるための「リーディング」の指導の工夫
 柴田 康：環境教育を実現する指導方法の工夫（中学校社会科）

高橋 良二：コンピュータを活用した観点別学習状況の評価について
 田口 隆：環境学習を支援するマルチメディアソフトウェアの開発
 笹渕 俊樹：「木材加工」領域における生徒の主体的な学習を促すコンピュータの利用
 山本 敬：進路指導における情報活用能力の育成を図るコンピュータの利用
 安保 亨：自己教育力を高めるための学級における生徒指導の在り方
 草薙 亨：登校拒否（不登校）の予防的対応のための児童理解と教師のかかわり
 夏井はるい：動き始めた登校拒否生徒への対応
 高橋 謙介：家族力動関係からみた登校拒否の理解とその対応
 鈴木 浩：情報処理様式からみた精神発達遅滞児の実態把握と指導
 田代 和彦：精神薄弱特殊学級へのTEACCHプログラムの試み
 磯崎 清和：精神遅滞を伴う先天盲児の空間認知に関する指導
 米沢 直美：精神薄弱者の職場適応に関する一考察

研究内容は「研究紀要第26集」を御覧ください。

研修を終えて

研究—春夏秋冬

秋田市立桜小学校 川越よし子

春はテーマ決め……最初の仕事は研究テーマを決めること。手がかりを求めて資料室と部屋を往復する毎日。資料室は宝の山であった。国立教育研究所、各県の教育センター、大学、県内の各学校の研究紀要が集まっている。それをコンピュータで検索する。さらに教育関係の雑誌が120種類。購入したい本は宅配便を利用すれば一週間以内に手元に届くことを知った。このようにしてテーマを決め、研究を進めたのである。

夏は追究……異常な暑さの年であった。そんななか「TT方式の進め方」の講座に参加した。予定の人数をはるかに上回る百人以上の先生が参加し、講堂は暑さと熱気でいっぱいだった。各教科や教育評価の講座など、たくさん参加することができ、自分のテーマを様々な角度から見つめ直すことができた。

秋は執筆……所属校での2回目の実践授業。忙しいなか協力していただいた。授業後すぐにデー

タのとりまとめ、そして論文の執筆。春から研究してきたことを研究紀要5枚、約8000字にまとめるのである。毎日ワープロとにらめっこ。何回か部内発表会を行い、指導主事の先生方の助言や研修員同士の練り合いを通してまとめていくことができた。

冬は発表……教育研究発表会。当日は緊張のうちにも無事終了。多くの人に助けられてこの日を迎えたのである。

振り返ってみれば、じっくり研究に打ち込み、教育について広い勉強ができた年であった。今度は、ここで学んだことを学校で生かすとともに、また講座を受けに来たいと思っている。密度の濃い一年であった。



第9回秋田県教育研究発表会での川越研修員

第9回秋田県教育研究発表会での安保研修員



実り多い一年

秋田市立：東中学校 安保 亨
 紀要原稿をまとめ、研究発表会を終えた今になってみれば、教育センターでの一年は、有意義で実り多かったと思う。

研修テーマは生徒指導に関することであった。日ごろから問題意識を持っていれば、そのことに焦点を絞りながら研修をより深めることができたと思う。しかし、大きな声を頼りに生徒指導をしてきた私には、生徒指導というものを一から見直すことを含め、先を見通して研究テーマを設定することが、一番大変なことであった。結局、自己

教育力に関することをテーマにした。あまり焦点を絞り切れなかったものの、実態調査によって、これまで自分ではあまり感じる事がなかった生徒の内面を理解できたこと。また、担任が共感的態度で接したり、有用感や存在感を味わわせる手段を工夫することによって、生徒の可能性をより引き出させることがつかめたように思う。

さらに、特殊教育研修部に配属され、センターでの相談活動を目の当たりにすることができたことも貴重な体験であった。大勢の生徒を相手にしていると、ゆっくり話を聞いて対応するよりも、結果を求めがちになるが、きめ細かな対応に触れるたびに、教育相談の原点を見る思いがした。

これまでぬるま湯につかり、自分の経験だけを頼りにしていた生活を振り返ることができたことや、学校にいてはなかなか聞くことができない講座に自由に参加できたこと、校種や地域を越え、いろいろな先生たちに接することができたことなど教職人生の中でこの一年は、大きな意味を持つと思う。そして授業をしたい、生徒とともに過ごしたいという思いを、4月からのエネルギーとしていきたい。

平成6年度教育センター刊行物案内

「研究紀要 第26集」

教育の今日的課題について、指導主事の研究8編と、研修員の研究22編が載せられています。

「ホームルーム(学級)活動における在り方生き方指導—郷土を生かす指導資料—」

中・高等学校における郷土のよさや実態を生かした人間の在り方生き方指導について、調査結果や県内外の実践例を基に追究した指導資料です。

「登校拒否(不登校)児童生徒への保健室でのかわり方」

保健室登校の状況や保健室での養護教諭のかわり方に関する調査結果や事例を通し、学級担任を支える望ましい連携を考える指導資料です。

＝以上の3冊は、各学校に配布

されますので、御活用ください。＝

さようなら仁井田の教育センター

昭和40年秋田県理科教育センターが秋田市仁井田字鴻中島297番地の11に落成、昭和44年秋田県教育センターが発足、昭和61年特殊教育研修部の設置、というような約30年の星霜を経た「仁井田の教育センター」が閉じられました。

移転作業は、1月から2月にかけての雪のなか無事に行われ、今は、天王町で始まる新しい教育センター事業の準備に追われています。



理科棟から運びだされる荷物